

## 明石市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会 開催状況

<b>会議名</b>	第2回明石市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会
<b>開催日時</b>	2022年（令和4年）2月7日（月曜日）10時30分～11時45分
<b>開催場所</b>	あかしこども広場 多目的ルーム
<b>出席者</b>	分科会委員（委員6名中出席者5名 うち書面出席1名）
<b>内容</b>	<p>1 開会</p> <p>2 高齢総合支援部長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>（1）事業計画に基づく施策の推進状況と今後の取組</p> <p>（2）（仮称）明石市認知症あんしんまちづくり条例について</p> <p>（3）市立明石商業高等学校福祉科創設検討会の報告について</p> <p>（4）高齢者福祉に関する新年度施策について</p> <p>4 閉会</p>
<b>会議の議事録</b>	別紙参照

## 議事録

<b>事務局</b>	<b>1 開会 (10時30分)</b>
	本会議は、委員6名のうち、出席委員4名、及び書面による意見表明1名と、過半数を超える計5名が参加しているため、明石市社会福祉審議会規則第4条第3項の規定に定める開催要件を満たしていることを報告する。
<b>高齢者総合支援部長</b>	<b>2 あいさつ</b>
<b>専門分科会長</b>	<b>3 議 事</b>
	以降の議事は次第に沿って進行させていただく。
<b>事務局</b>	「(1) 事業計画に基づく施策の推進状況と今後の取組」資料に沿って説明。
<b>委員</b>	地域ネットワークの充実で、地域総合支援センターの相談事業について、資料には「解決に向けた」という言葉の記載がない。私達は、地域で相談を受けたとき、解決に向かうことを一番大事にしている。「解決に向けた」という言葉を記載して頂きたい。 また、高齢者の活躍できる場の充実と社会参画の推進で、高年クラブ活動を支援していくとあるが、地域には高年クラブ以外にも、シニアの方が活躍している様々な組織がある。市は、高年クラブだけを支援するのではなく、そのような組織がどのような活動しているのか、実態や実績を把握し考えてほしい。
<b>事務局</b>	地域総合支援センターの相談事業については、地域の皆様と情報共有を図りながら、地域が抱えている課題の解決に向かうことを目標にしているところではあるが、今後は資料に表現したい。 高年クラブ以外の様々なボランティア活動については、西明石サポーターリングファミリーに地域支え合いの家を運営していただいていることをはじめ、地域との協働により様々な方に地域福祉活動に関わっていただいたり、また地域総合支援センターでも、生活支援コーディネーターが中心となって地域活動の支援に取り組んでいる。また、新たな取り組みとして、2021年度から地域総合支援セ

	<p>ンターに就労的活動支援コーディネーター1名を配置し、生活支援コーディネーターと連携して、地域の皆様と情報共有を図りながら高齢者の参加支援に努めている。今後は高年クラブだけでなく、地域でボランティア活動をされている方々の活動についても、事業計画に盛り込めるように意識したい。</p>
<p><b>委員</b></p>	<p>介護認定数と介護認定率について、コロナ禍によって認定調査を途中で止めることがあったようだが、本来であれば介護認定数はもっと多かったのではないかと。</p>
<p><b>事務局</b></p>	<p>前年度の緊急事態宣言中に更新申請となる人は、認定期間を12か月延長して認定を継続する取り扱いであるため、認定数に含まれている。</p>
<p><b>事務局</b></p>	<p>「(2) (仮称) 明石市認知症あんしんまちづくり条例について」資料に沿って説明。</p>
<p><b>事務局</b></p>	<p>「(3) 市立明石商業高等学校福祉科創設検討会の報告について」資料に沿って説明。</p>
<p><b>委員</b></p>	<p>教員の確保について、教員の中に福祉免許状の所持者が少ないとのことだが、逆に福祉施設従事者から教員免許の所持者を探してみてもどうか。</p> <p>社会人向け国家試験対策講座とは、初任者研修の資格を持っている社会人を対象に、国家試験の受験資格を得るための講習と考えてよいか。</p>
<p><b>事務局</b></p>	<p>教員の確保については、ご指摘のとおり、福祉施設従事者で教員免許の所持者がいる可能性もあるので対象者を広く考えたい。</p> <p>社会人向け国家試験対策講座の具体的な内容は現在、検討中だが、例えば高校生が国家試験対策講座を受講するときに、社会人も一緒に受講してもらうことなどを考えている。</p>
<p><b>委員</b></p>	<p>兵庫県立大学に福祉学部の創設をお願いするなど、高等学校からストレートに福祉系の大学に進学できる仕組みを考えてみてはどうか。出願者数も増えるのではないかと。</p>

<p><b>事務局</b></p>	<p>兵庫県立大学に福祉学部の創設をお願いする件については、この場では回答できないが、今般の高校生は福祉系の大学に進学する傾向があるので、生徒の募集にあたっては、進学先の情報等を積極的に発信していきたい。</p>
<p><b>事務局</b></p>	<p>「(4) 高齢者福祉に関する新年度施策について」 資料に沿って説明。</p>
<p><b>委員</b></p>	<p>地域総合支援センターとの連携、強化との説明があったが、地域住民として、市と地域総合支援センターとの関わりが見えてこない。地域住民に、連携や繋がりが伝わるような体制や仕組みを考えてほしい。</p>
<p><b>事務局</b></p>	<p>市と地域総合支援センターは、業務の委託元と委託先の関係の中で、要支援者施策の推進状況の確認や新たな事業展開について、定期的に協議、意見交換の場を持っている。また、相談事業、生活支援体制整備事業、認知症施策事業等の中で、動きがあれば密に連絡をとっている。地域での活動支援は地域総合支援センターの職員が中心となっているが、市の職員も地域に出向いて意見を伺うなど一体的に支援を行っている。今後は委員の意見を踏まえ、地域住民に伝わるような情報発信の方法を考えていきたい。</p>
<p><b>専門分科会長</b></p>	<p>これをもって議事を終了する。</p>
<p><b>4 閉 会 (11時45分)</b></p>	